

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 3386

ML-3000カラー中塗

1. 一般名 ビニルエステル樹脂ガラスフレーク中塗塗料
 2. 規格 社内規格
 3. 特徴
 1) ガラスフレークと特殊合成樹脂との組み合わせにより、すぐれた防食性を発揮する。
 2) 密着性が良好で熱ショック、クラックや剥離を起こさない。
 3) 低温時でも短時間で良好な硬化塗膜が得られ、作業性にすぐれている。

4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	主剤：16 kg 硬化剤：0.16 kg(標準)、0.32 kg(冬期)				
色相	S36-708 淡目				
光沢	—				
密度 (23°C)	塗料	1.20			
	揮発分	—			
加熱残分	100% (理論上)				
乾燥時間	温度	5°C*	10°C*	20°C	30°C
	硬化剤量	2	2	1	1
	半硬化	18時間	12時間	6時間	3時間
標準膜厚	300 μm				
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

*印の温度の場合、混合比率は、主剤/硬化剤=100/2

5. 塗装基準

項目	内容				
下地処理	—				
調合法	主剤：100部、硬化剤：1~2部 (重量比)				
可使時間	温度	5°C*	10°C*	20°C	30°C
	硬化剤量	2	2	1	1
	時間	7時間	4時間	2時間	1時間
使用希釈剤	ML-3000反応性希釈剤				
洗浄シンナー	ML-3000洗浄用シンナー				
塗装方法	塗装方法	ローラー塗り			エアレス塗装
	希釈率	2%以内			2%以内
	標準使用量	0.40 kg/m ²			0.75 kg/m ²
	標準膜厚	160 μm			300 μm
	ウエット管理膜厚	220 μm			400 μm
エアレス塗装条件	1次圧 0.5MPa (5 kg/cm ²) 以上 2次圧 20MPa (200 kg/cm ²) 以上 ポンプ比：45：1以上、チップNo.163-419~635				
塗装間隔	温度	5°C*	10°C*	20°C	30°C
	最小	24時間	18時間	10時間	5時間
	最大	7日	7日	7日	7日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

*印の温度の場合、調合法は、主剤/硬化剤=100/2

6. 施工上の注意

- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。
- 一度に厚く塗りつけるが、過度の希釈や必要以上に伸ばして塗布することなく、所要量を塗布し膜厚保持に努める。
- 機器の洗浄にはML-3000洗浄用シンナーを使用すること。
- 主剤、硬化剤及び混合塗料の取扱い、保管、廃棄に際しては、カタログ又は施工要領書での指示を守ること。
- 貯蔵有効期間3ヶ月以内に使用する。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第5類第2種自己反応性物質 有機過酸化物
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意 [警告]

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。